

## 個人信用スコアリングで、アジアでの事業展開を加速 ～中国フィンテック企業『信用宝』に出資～

株式会社クレディセゾン（本社：東京都豊島区、代表取締役社長：林野 宏、以下:当社）は、東南アジアにおける事業展開を加速させる戦略的事業パートナーとして、中国のフィンテック企業「信用宝金融信息服务（北京）有限公司」（本社：中国・北京市、以下：「信用宝」）に出資いたしました。

「信用宝」は独自のビッグデータプラットフォームを基にした情報管理技術と、人工知能を用いた高度な信用分析・スコアリングによる与信技術を活かした金融サービスを提供しています。

当社は、中国をはじめシンガポールやベトナム、インドネシアに拠点を置き、成長著しいアジア圏内において、各国に即したリテール金融ビジネスへの展開をしております。

このたびの「信用宝」への出資により中国事業を拡大させるとともに、同社がもつ多面的かつ膨大な情報に基づく先進的な与信技術を活用することで、個人信用情報を保有しない顧客層への新たなスコアリングモデルを確立し、近隣アジア諸国でのコンシューマーファイナンス事業を加速させてまいります。

今後も、将来の成長基盤の柱として中長期的な海外戦略の基盤づくりと事業展開を推進し、東南アジアでのプレゼンス向上による「アジアにおいて他にないファイナンスカンパニー」の実現に向けた挑戦を続けてまいります。

### ■ 「信用宝」について

個人信用スコアリング分析における米国リーディングカンパニー「FICO」などで勤務経験があり、信用分析分野の専門家であるダーウィン氏（涂志雲）が 2013 年に創業。市場が急成長している資金の貸し手と借り手を仲介する P2P レンディングを中心としたフィンテックを中国全土で展開し事業を拡大。